

### 第3章 熊本市の緑の特性とまちづくり

#### 1. 緑の特性

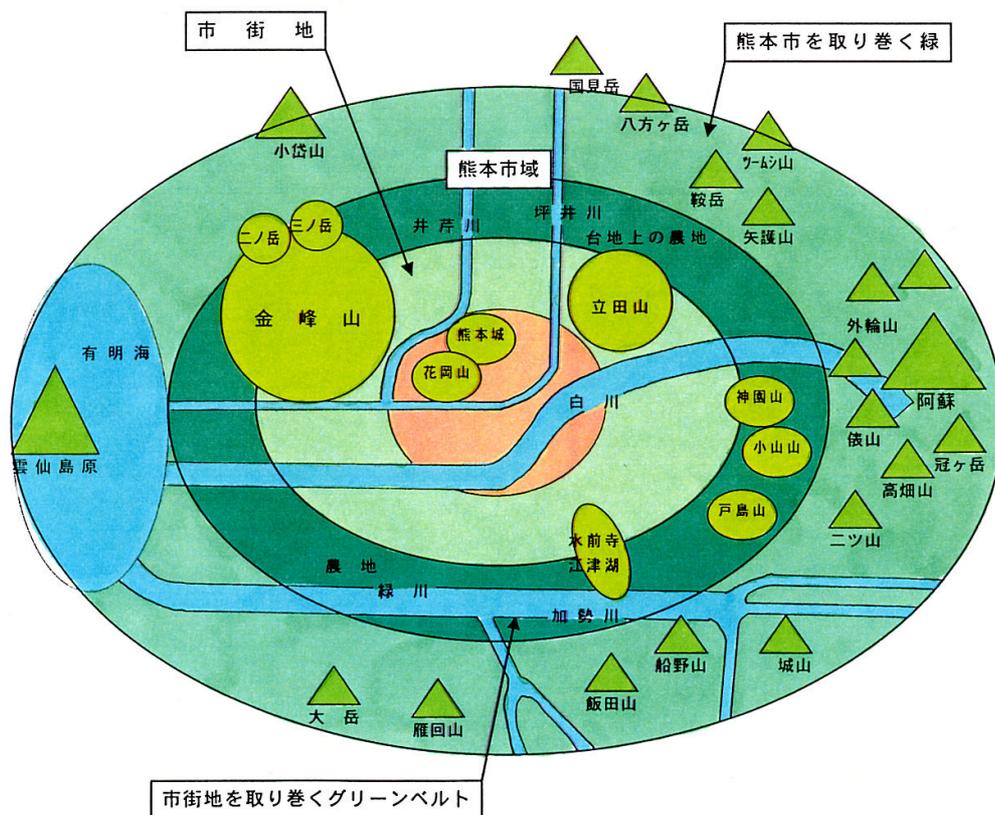
熊本市は、東に阿蘇山、北に台地、南に一連の山々、西に有明海・雲仙等、広大な緑に囲まれています。

市域に入ると、金峰山や北部台地、託麻三山、東部の畑地帯、江津湖、西南部の水田地帯等のグリーンベルトが市街地を取り巻いています。市街地内では、熊本城や立田山等の緑の拠点が、白川や坪井川等の水辺の緑でつながっています。また、緑量感あふれる鎮守の森や公園、学校の緑、季節感のある街路樹等の身近な緑が、潤いのある都市空間を形成しています。

文豪夏目漱石は、明治29年4月、上熊本駅で汽車を降り、京町台の高台から眼下に広がる熊本市の街並みを見て「森の都だな」と表現しました。以来、熊本市民はふるさとは「森の都」であることに誇りを感じています。

本市の緑の特性は、二つの大きな緑の環の中に緑豊かな都市があるという構造とそこに暮らす市民の心に「森の都」の名が深く刻まれていることです。

図3-1 熊本市の緑の構成概念図



## 2. 植生

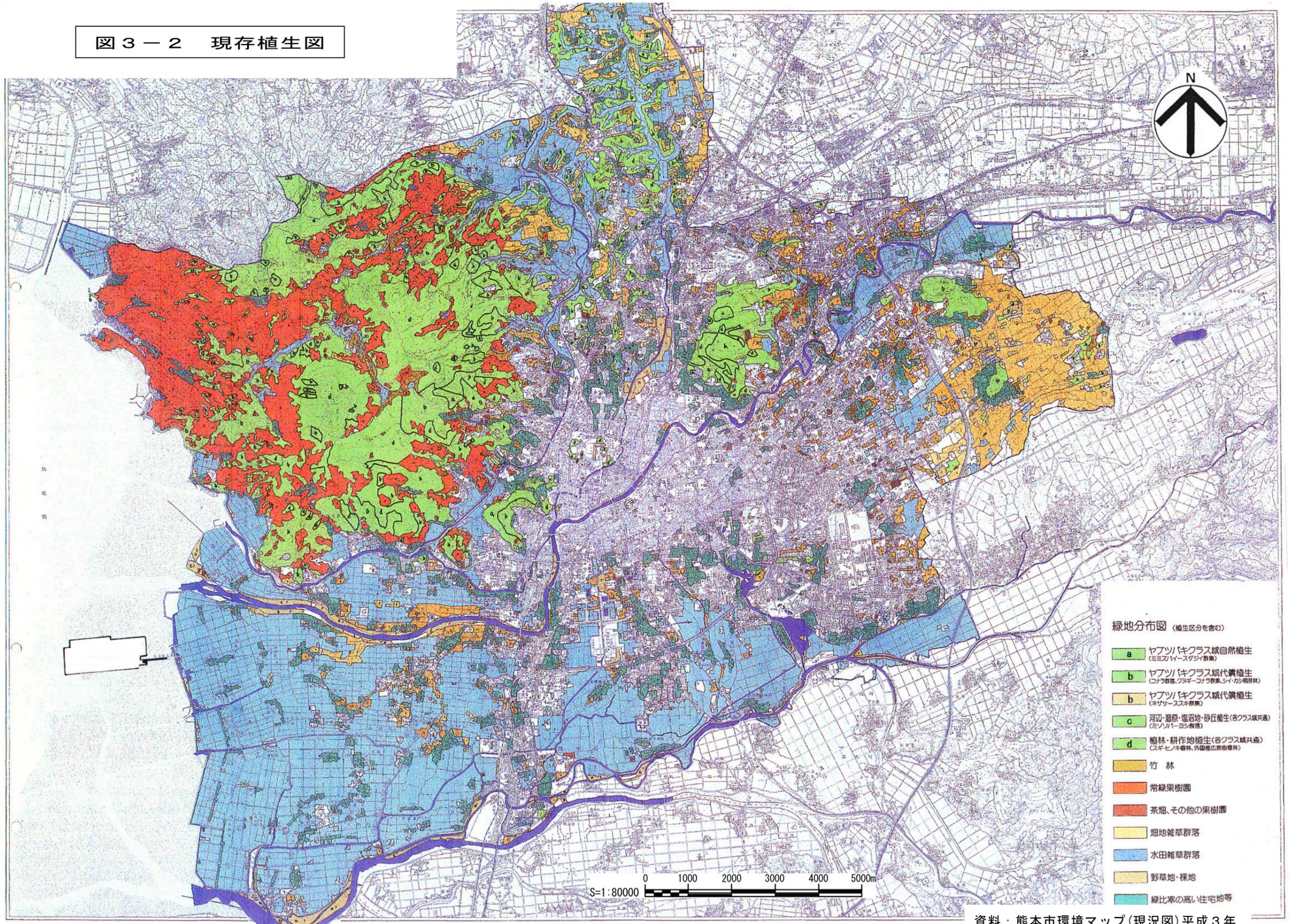
本市は、植生学的にはヤブツバキを\*標徴種とするヤブツバキクラス域に属し、クスノキ、タブノキ、カシ類、シイ類等の常緑広葉樹（照葉樹林）を\*潜在自然植生の構成種としています。また、古くから人が住みついているため、原生林は存在しませんが、市街地に社寺林や屋敷林として残っているイチョウ、クスノキ、エノキ、ムクノキ等の緑量感ある樹木は、「森の都」と呼ばれる本市の緑の特徴となっています。

市域に現存する主な樹林地は、金峰山系の山地や立田山、託麻三山等の山々や柿原台地・京町台地の縁辺部、白川等河岸段丘の斜面に形成されています。それらの植生の概要は表3-1の通りです。

表3-1 地域別植生の概要

地域	植生の概要
金峰山	シイ類、カシ類の常緑樹や、クスギ、コナラ等の落葉樹が混在する広葉樹林が広がっており、斜面一帯の植林は古く、クスノキ群が点在しています。
荒尾山～本妙寺山	スダジイ林、コジイ林、ムクノキ林が茂っています。
権現山	スダジイ林に覆われています。
成道寺周辺	シイ林、アラカシ林、クスノキ林が茂っています。
三淵山～上高橋	シイ林、アラカシ林、コナラ林等が広がっています。
御坊山	神社の所有で、自然の林と植栽樹とが茂る古い林です。
独鈷山	シイ林、アラカシ林等が広がっています。
高橋稲荷神社の裏山	アラカシの多い種々の老林が茂り、特にホルトノキ、セマモガシが多いのが特徴です。
花岡山、万日山	クスノキ、ムクノキ等の林が北から西にかけて茂っています。花岡山山頂付近の公園には、ソメイヨシノが多く植栽されているほか、クスノキ、エノキ、ムクノキ等の大木も見られます。
北岡自然公園	廟のある台地には老木が多く、特に北面は自然に近い林が残っています。
立田山	泰勝寺跡には、イチイガシの巨樹を交えたコジイ極相林があります。水道局配水池内にも古いコジイ林が多く、森林総合研究所には各種植林のほか、天然記念物ヤエクチナシが自生するコジイ林があります。
託麻三山	コジイ林、アラカシ林に覆われて、比較的良好的な自然が保たれていますが、最近ではモウソウチクが増えてきています。
弓削付近	吉原橋下の白川河原にはツルヨシ群落が見られ、この付近の白川沿いにはモウソウチク林のほか、ムクノキ、エノキの古い株が多く見られます。
熊本市斎場付近	良く発達したコジイ林があり、クスギ、コナラ林が一部で見られます。
熊本城	植栽された老木のクスノキが多く、稀にホルトノキ、ヤマモガシが見られます。
京町台地	クスノキ、ムクノキ等の林が一部残っているものの、モウソウチク林が広く見られます。
江津湖	湧水湖で水温がほぼ一定していることから、水生植物、湿生植物に特殊なものが多く生育しています。スイゼンジノリが自生するほか、北方系のヒメバイカモ、キタミソウ、アズマツメクサ、ヤナギゴケ、南方系のテツホシダ、ハチジョウシダモドキ、イヌホシダ、オオイシソウ、溪流性のホゴケ、アオハイゴケ、そのほか、ヒラモ、ビロードスゲ等、県内希産種が多く生育しています。

図 3 - 2 現存植生図



緑地分布図 (植生区分を含む)

- a ヤブツバキクラス級自然植生 (ミミズイースグランド)
- b ヤブツバキクラス級代償植生 (コナラ群、クヌギ・コナラ群、シイ・カシ群)
- b ヤブツバキクラス級代償植生 (ネザラースギ群)
- c 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生(各クラス級共通) (ミノリバーヨシ群)
- d 樹林・耕地植生(各クラス級共通) (スギヒノキ群、外国産広葉樹植生)
- 竹林
- 常緑果樹園
- 茶畑、その他の果樹園
- 畑地雑草群落
- 水田雑草群落
- 野草地・裸地
- 緑比率の高い住宅地等

資料：熊本市環境マップ(現況図)平成3年